

このルールは、「すべての二分木 T に対して P という性質が成立することを証明するためには、(1) n が自然数であるという仮定のもとで $\text{leaf}(n)$ に対して P が成立すること、(2) T_1 と T_2 に対して P が成立するという仮定のもとで $\text{node}(T_1, T_2)$ に対して P が成立すること、の2つを証明すればよい、というものである。これが、自然数に対する数学的帰納法の拡張になっていることは容易に想像できるだろう。